

認知症診断後支援モデル事業の実施について

1 目的

現状では、認知症の症状が進行し、生活上の困りごとが深刻化してから問題が顕在化することから、認知症の早期の段階で適切な支援につながる仕組みを構築する。

また、現時点で認知症であるかないかに関わらず、できる限り早期に自らの健康状態を把握し、健康習慣を見直すきっかけとなる機会を提供する。

2 実施事業

(1) 認知症とともにパートナー事業 ～認知症とともに☆みんなとともに～

① 概要

医療機関で認知症の診断等を受けた本人やその家族がその意思に十分配慮されながらできる限り早期に必要なサービス等につながるができるよう、訪問看護ステーションの看護師による伴走型の支援を行う。

② 対象者

下記のアに該当し、かつイ又はウに該当する本人又はその家族

- ア 文京区に住民票を有する在宅生活者で、要支援・要介護認定を受けていない方
- イ 医療機関で認知症の診断を受けた方又は疑いがあると判断された方
- ウ 認知機能が低下し生活に支障をきたしている方で、何らかの支援が必要と判断された方

③ 支援内容

対象者の状況や意向を踏まえて、次に掲げる支援を行う。

- ア 本人及びその家族の疾患受容への支援
- イ 必要に応じた同行受診
- ウ 家族支援
- エ 介護保険や権利擁護等の社会資源利用申請手続き支援
- オ 認知症関連事業や介護予防事業などの利用同行支援
- カ 関係機関連携

なお、支援期間は最長6か月とし、支援終了後は、状況に応じて高齢者あんしん相談センター等の関係機関に支援を引き継ぐ。

④ 実施方法

対象者への支援は、区内の訪問看護ステーションへの委託により実施する。
また、対象者への事業の案内は区内の医療機関の協力を得て行う。

⑤ 本人負担

なし

⑥ 事業開始時期

令和2年4月

(2) 認知症とともにフォローアッププログラム ～認知症とともに☆みんなとともに～

① 概要

脳の認知機能の測定や活性化させるためのエクササイズなどを取り入れた全3回のフォローアッププログラムを実施する。

② 対象者

区内在住・在勤・在学者どなたでも

③ 内容

ア 脳の健康測定（脳の健康状態のスコア化）

イ 体力測定（握力測定、椅子からの立ち上がりテストなど）

ウ 脳の機能を活性化させるためのエクササイズ体験

エ 医師、健康運動指導士及び管理栄養士によるミニ講話

例) 日々の食習慣や運動などの生活習慣を見直すことや生活習慣病を適切にコントロールしていくことの重要性について

オ 健康習慣のセルフチェック

④ 本人負担

なし

⑤ 事業開始時期

令和2年6月